



実習や様々な活動の中で、リーダーを頼まれたりすること、ありますよね。みんなを引っ張っていきなんてどうしたらいいんだろう…、みんなの意見をまとめられるかな…など、いろんな不安が湧き上がってきます。果たして、「リーダー」になるためにはどうしたらいいのでしょうか？今回は、リーダーについて考えてみましょう。

コラム 「良いリーダー」とは…？



ギモンその1！

リーダーになる人にはそもそも優れた資質や特徴が必要なの??

このような考え方に基づいて、リーダーの個人特性を明らかにしようと様々な研究が行われましたが、その研究は一貫した結果にならず、リーダーの個人特性だけではリーダーシップのごくわずかの部分しか説明できないことがわかりました。つまり、「こういう人がリーダーにふさわしい」ということははっきり説明できず、「リーダーがどのように行動するか」が大切だとされています。



ギモンその2！

じゃあリーダーはどのように行動すべきなの??

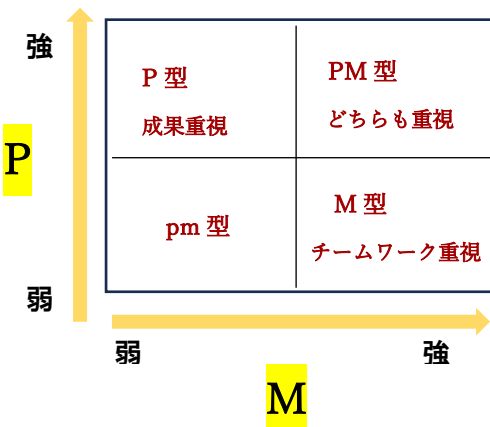
リーダーがどう行動するべきか、という考え方のひとつに「リーダーシップPM論」という考え方があります。日本の社会心理学者、三隅二不二が唱えた理論です。三隅は、リーダーが果たす機能として、P機能とM機能の2つをあげています。

P機能・・・目標達成 (performance) のP →成果を重視する

M機能・・・集団維持 (maintenance) のM →チームワークを重視する

P機能は、集団目標の達成を促進する機能で、メンバーを課題に取り組みせたり、指示を適切に与えたりすることなどを意味します。

M機能は、集団のまとまりを維持・強化する機能で、メンバーが働きやすいように環境を整えたり、相談にのったりするなど、メンバーの心に配慮する行動などを指します。三隅は、この2機能をリーダーがふだんの程度果たしているかによって、リーダーシップを4つに分類しました。



三隅の研究では、P機能とM機能の両方が高いリーダーが、成果も上がりチームワークもよいとしています。

しかし、リーダーについては他にもさまざまな研究が行われており、集団が置かれた状況によってや、目標や課題の性質によってリーダーに求められることは違ってくるという考え方もあります。リーダーには、状況を見て柔軟に対応することが重要なかもしれませんね。

(参考) よくわかる心理学：ミネルヴァ書房

相談室だより 第12号
発行日：2024年11月吉日
発行：国際医療福祉大学
塩谷看護専門学校
学生相談室

編集後記

今月の記事を書きながら、中学時代のことを思い出しました。私の中学の頃は(昭和の時代…)名簿も男女別、なぜか、学級委員長は男子、副委員長は女子、と暗黙で決まっていたように思います。1学年5クラスあったのですが、そのうちの1クラスは男子のみのクラス。男子は、3年間で必ずどこかで男子クラスを経験するという…、今思えばよくわからない風習の学校でした。ちなみに、男子クラスは「おとこ組」と呼ばれていましたね…。

(山科 湖)